

ゼロからの 希望の轍

命・防災・生き様を学ぶ

陸前高田
民泊修学旅行



心の振れ幅が生まれる出会いと経験を。



大震災でたくさんの尊い命、かけがえのない日常を失った
このまちだからこそ伝えられる『学び』がここにはあります。

訪れる人の『心の振れ幅』を大事にしたモデルコースの設計。
『心のプロセスマップ』を指針に、滞在時間の濃密さが増す工夫をしています。

普段通りの生活の中で『生活体験』を共同することにより、
地域との関わり・自然からの恵みがある暮らし・人と人との関わりや
絆を体感することができます。

わたしたちは、陸前高田を訪れるみなさん一人一人と受入れ家庭のみなさんが
一緒に過ごす時間の中で『心の振れ幅』が生まれることを何よりも大切に考えています。

普段通りのありのままの生活を一緒に過ごすことを通じて、単に田舎暮らし体験や
地域住民の方々とのふれあいだけにとどまらない、思い出に残る民泊体験ができるはずです。



陸前高田民泊修学旅行基本プラン



定番コース

1泊2日(2食)

市内での行程イメージ

●●●●●●●● 1日目 ●●●●●●●●

13:00 陸前高田到着『震災学習※2』(P4参照)
14:30 はまって会(対面式)
15:00 各民家へ移動／民泊体験

●●●●●●●● 2日目 ●●●●●●●●

11:00 ほんでまんず会(お別れ式)
11:30 陸前高田出発

- 時期・天候・人数によって内容が変動する場合があります。
- お弁当や昼食の手配も可能ですので、ご相談ください。

たっぷりふれあいコース

2泊3日(5食)

市内での行程イメージ

●●●●●●●● 1日目 ●●●●●●●●

13:30 陸前高田到着『震災学習※2』(P4参照)
15:00 はまって会(対面式)
15:30 各民家へ移動／民泊体験

●●●●●●●● 2日目 ●●●●●●●●

終日民泊体験

●●●●●●●● 3日目 ●●●●●●●●

10:00 ほんでまんず会(お別れ式)
10:30 陸前高田出発

※1…事前事後学習はオプションプランです。ご要望に合わせてセミオーダー致します。お気軽にご相談ください。

※2…震災学習(ガイド付き見学プログラム)は別料金となっております。人数・内容にご相談ください。

陸前高田民泊体験のながれ

震災の爪痕や体験談。豊かな自然・あたたかい人々。陸前高田で経験するものすべてが生徒たちの成長に繋がっていきます。家庭との心の通じ合いを通して、生徒はさまざまな出来事を自分ごととしてとらえる心を育てていきます。

1 到着／震災学習『復興最前線』



陸前高田に到着後、このまちで起きたことを見学する形で学びます。震災での被害だけでなく、いま進められている“ゼロからのまちづくり”という視点で市内の震災遺構や新しいまちをガイド付きで学習します。

※詳細は右ページをご覧ください。

心の振れ幅 = 悲しさ ⇄ 未来のまちへの希望



爪痕が残る震災遺構を見学。生徒のまなざしが一気に真剣なものに変わります。



はまっぺ会(対面式)は生徒さんが来てくれたことがうれしくてうれしくて大歓迎ムード

家庭と対面～対面式～ 2

当日受入れ家庭に会うまで、生徒の心の中には不安があるのも事実。はまって会(対面式)では受入れ家庭の笑顔と歓迎に生徒さんの心がほぐれていきます。各家庭へいざ出発！いってらっしゃい！

心の振れ幅 = 緊張、不安 ⇄ 安心、ワクワク感



3 陸前高田での生活体験



お客さまではなく、受入れ家庭のいつもの生活の時間を一緒に過ごします。受入れ家庭と生徒さんの心の距離が徐々に近づき、共に過ごす時間を通して、言葉で図るコミュニケーション以上の『心の通い合い』も期待されます。

心の振れ幅 = 楽しさ・発見 ⇄ 親密さ



漁師のお父さんといざ漁業体験へ！



『さよなら』ではなく、『じゃあまたね』と手を握りあって再開の言葉で陸前高田を後に。

陸前高田を後に～お別れ式～ 4

どの受入れ家庭も「みんなとてもかわいくて帰ってほしくない」生徒も「帰りたくない、もっといたかった、また来るからね」と涙する場面も。短い滞在でも生徒と受入れ家庭の間には『心が通う人間関係』がされます。

心の振れ幅 = 別れの寂しさ ⇄ 感謝・心の通い合い



はまって会・ほんでまんず会とは？

「はまって」は方言で「輪に入る」、「ほんでまんず」は「また会おうね」という意味です。

復興最前線

～ 大規模工事・震災風化・ゼロからのまちづくり ～

陸前高田を訪れる方々に『現在』と『これから』のわたしたちのまちの姿を知っていただきたい。そんな思いで生まれた震災学習です。

陸前高田の震災遺構とは…

陸前高田市では東日本大震災の記憶の風化を防ぎ、後世に伝承していくため、被災した建物等を『震災遺構』として保存することとしています。陸前高田の震災遺構は全部で4つ残されています。

震災遺構 旧道の駅タピック45

津波の直撃を受け、その高さは14.5mにも達しました。実際に建物に上り、波の高さや爪痕をリアルに体感します。

※2018年8月からは工事の関係で敷地内に立入ることができないため、車窓からのご案内となります。ご了承ください。



震災遺構 定住促進住宅

津波は4階まで完全に水没させ5階の床まで達しました。その状況を近くで見ると内部が同時のままの状態になっています。



震災遺構 旧気仙中学校

気仙川の河口付近にありわずか数分で校舎3階まで波が達しました。津波による建物への被害を間近で見ることができます。



震災遺構 奇跡の一本松

高田松原にあった約7万本の松のうち奇跡的に残った1本。現在はモニュメントとして復興のシンボルとなっています。



復興まちづくり情報館 震災追悼施設(慰霊碑)

当時の写真やパネル、まちの模型などを展示。施設正面には慰霊碑があります。

震災学習コース

震災前と震災後の陸前高田を学び、陸前高田になにが起きたのか、いざというとき自分はどう動けばいいのかを考えるために、見て歩いて体感するコースです。

例) まちづくり情報館・震災追悼施設(慰霊碑) → 旧道の駅タピック → 今泉高台造成地

例) 奇跡の一本松 → まちづくり情報館・震災追悼施設(慰霊碑)

所要時間：約90～120分

料金：1人1,500円(税別)

- 最小催行人員10名様～
- 41名様以上から団体割引があります。
- ガイドには専門のコーディネーターが付きます。

巨大防潮堤と高田松原再生計画を知るコース

広田湾に向かい地域を守る高さ12.5m、全長2kmの巨大防潮堤。防潮堤の海側にはかつての高田松原再生のプロジェクトもスタート。牡蠣の養殖棚が広がる広田湾と成長している松を見ることができます。

中心市街地等大規模 嵩上げ工事見学コース

市内の大規模かさ上げ地に2017年春ようやく店舗がオープン。約10mかさ上げされた場所に立ち、復興の今を感じるコースです。

ご要望に応じて
コースの内容は
変更が可能です
ご相談ください

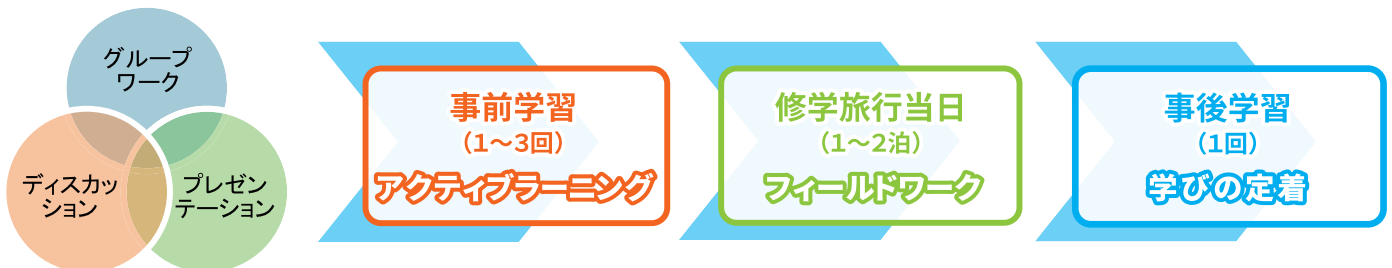
アクティブラーニングで深める “事前事後学習”

事前事後学習を導入することで解決できること

- 👉 いままで無関心だった『**対岸の火事**』に興味関心がわくようになる
- 👉 被災地に行ったときに **何を見る・聞くべきか、観点が分かる**ようになる
- 👉 『**被災地の人にこんなこと聞いていいの?**』といった不安が解消される
- 👉 修学旅行の学びを **今後どう活かせばいいか** がつかめる

知らない・興味がない 被災地に対する不安がある 民泊に対する不安がある	被災・復興について 興味がわいている	陸前高田に行く意味を 自分の中で見出している	修学旅行で見るべき 観点がわかっている	修学旅行の経験を 自分ごとに落とし込める
---	-----------------------	---------------------------	------------------------	-------------------------

アクティブ・ラーニングで対話を通じて『主体的』に深い学習をします。



現地活動する大学生による
ファシリテーション



グループディスカッション



グループ発表

学校からのご要望(難易度・日数・テーマ)に合わせて、オーダーメイドで
プログラムを作成いたします。お気軽にご相談ください。

【回数】 事前／修学旅行前1～3回、事後／修学旅行後1回 【時間】 1回／45分～180分

【費用】 事前1事後1回／1人1,000円(税別)、事前3事後1回／1人2,000円(税別)

【テーマ例】

- ① 陸前高田市のゼロからのまちづくり政策作成
- ② 陸前高田の『暮らし＝一次産業』に焦点を当てた食育
- ③ 陸前高田でビジネスを起こすためのプラン作成



心を揺らして
未来につなげる。

言葉にならない経験を
一緒に作りましょう！

民泊のご利用に際して

- 受入れ家庭は実施より2週間前に決定します。
- 体験の内容は受入れ家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方等の事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

お問い合わせはこちらまで

一般社団法人マルゴト陸前高田 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石50-10
TEL : 0192-22-7410 / FAX : 0192-22-7420 / MAIL : info@marugoto-rikuzentakata.com



陸前高田市／一般社団法人マルゴト陸前高田／特定非営利活動法人SET
株式会社 &nature / 広田町生活体験推進協議会
一般社団法人日本農林漁家民泊推進協会／受入家庭一同